

英雄

Hancomme

December 2025 No.421

巻頭
記事

10月例会開催／10月例会を終えて

鳥取県中小企業青年中央会 親睦・交流事業開催／第77回全国中小企業団体全国大会 in 広島／TSC100人ゴルフコンペ

特集「HERO's」 TEAMボナパルト

令和7年度OB交流会／新理事ご紹介／ビジネス交流会告知／新入会員紹介／編集後記

◆発行所:鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 住 真介 ◆編集責任者:担当副会長 仲佐 大志 ◆制作・編集・発信・地域の力委員会 委員長 川口 慎司

10月例会開催

「なぜ、あなたの思いは〇〇に伝わらないのか？」

～昭和のOSから令和のOSへの変革～



令和7年10月15日(水)、米子文化ホールにて10月例会が開催された。

冒頭の住会長の挨拶では、「中央会が加入できる共済制度について皆さんにちゃんと知って頂き、中央会にいるメリットを意識してもらいながら会員拡大につなげてほしい。」と述べられた。

その後、臨時総会が開催され、景山貴司会員が委員長に任命された。

今月の委員長タイムは、発信・地域の力委員会の川口委員長が行い、自己紹介とご自分の出生地である長崎県について発表され、川口委員長のルーツと長崎愛を知ることができた。



本例会は、「なぜ、あなたの思いは〇〇に伝わらないのか？」をテーマに(株)BEANS 代表取締役 遠藤彰氏をお迎えし、昭和のOSから令和のOSへの転換についてご講演いただいた。講演のルールとして相手を否定しない、話を聞いた後は相手にいいねと返すことを絶対にしましょうと約束し、どのようにコミュニケーションを取ればいいのか全会員で実践し、和やかなムードで講演を聞くことができた。また、経営学と心理学の観点



からチームに必要なものは、「心理的安全」とし、一人ひとりをそのまま人として承認することが重要で人財育成をベースとした1on1を実践しながら「心理的安全」を確保していく会社になってほしいと今後の私たちがやるべきことについて教えて頂いた。最後に、自分たちと相手の価値観が違うことを認識し、「伝える」ということは、相手を知り受け止めた後にはじめてその準備がととのうことを忘れないでほしいと述べられ、自分たちの普段の行いを改めさせられる例会となった。

(記事: 木嶋)



10月例会を終えて

ビジネス経営委員会 副委員長 松田 宗平 (株)栄光電通 代表取締役)

10月例会にご出席いただきありがとうございました。担当例会を無事に終えることができ、ほっとしています。新しい期が始まってまだ4か月という短い準備期間に加え、当日は委員長が体調不良で欠席となるなど、想定外のことも重なりました。それでも委員長不在の不安を、会員全員で力を合わせて乗り越えることができました。普段は多忙で委員会に参加が難しい方も、この日は時間をつくって集まってくださり、仲間の結束力の強さを改めて感じた例会となりました。今回の経験を今後の活動にもつなげていきたいと思っています。

11月例会開催 鳥取県中小企業青年中央会親睦・交流事業開催



令和7年11月17日（月）、倉吉市の上灘コミュニティセンターにて、東部・中部・西部の青年中央会が一堂に会する鳥取県中小企業青年中央会の親睦事業が開催された。

冒頭に徳田県会長より「今回の職業クロスオーバーナイトを通して、仲間の輪を広げ、その先の商売を広げて欲しい」との挨拶があった。

本事業では、職業を通してお互いのつながりを深めることを目的として「職業クロスオーバーナイト」が開催され、各会員が自身の職業に関連する服装で参加し、グループに別れ3つの企画を行った。

第一部として、会員の所属する企業のロゴや企業理念等が出題され、そこから企業名・会員名を当ててクイズが行われた。

第二部は、職業チャレンジとして、

同業種の会員が東部・中部・西部から1名ずつ選出され、職業に関する技術や知識を争う競技が行われた。

第三部では、ミッションプランニングとして各グループに東部・中部・西部の各会員の会員カードが1枚ずつ配布され、各会員の職業を踏まえた上で、次の2つのミッション「オンラインショップへオリジナル製品を販売せよ」「斬新な職業体験ブースを企画せよ」から1つを選択し、ミッションを達成するための白熱した議論が各グループで展開された。

普段、お互いの職業について語り合う機会は少ないが、今回の「職業クロスオーバーナイト」を通して会員相互の関係性を深めることができ、とても有意義な親睦事業となった。

（記事：皆川）



第77回全国中小企業団体全国大会 in 広島

県出向理事 新井 翔太（サンイン・フーズ㈱営業部 課長）

令和7年11月12日、第77回中小企業団体全国大会広島大会が広島グリーンアリーナで開催されました。進化を続ける「国際平和文化都市」広島から新しい未来像を。の大会テーマのもと、中小企業が抱える雇用・労働環境・人財確保や育成について、多角的な議論と採決が行われました。



大会後は、リーガロイヤルホテル広島にて交流会があり大変多くの方が参加し、地元広島のお酒とお料理を堪能する事が出来ました！東部・中部の会員とも合同懇親会を開催し、「1つ」に繋がる懇親会が出来たと思います。第78回は熊本での開催となります、ぜひ参加してみるのも経験の一つとなると思いますのでご参加してみてください。



TSC100人ゴルフコンペ

令和7年11月24日（月・祝）、旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部湖山コースにて「第1回 TSC-One-Ring100人コンペ」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、ところどころに色づいた紅葉も見られるなど、絶好のゴルフ日和となりました。西部・中部・東部から57名が集まり、地区の会員が混ざった組み合わせでラウンドしたことで、楽しい交流の時間となりました。



ゴルフ後は「えん家」にて鴨鍋を囲みながら表彰式を行い、多彩な賞品に加え、じゃんけん大会でも大いに盛り上がりしました。次回はさらに参加者が増えることを期待しています。

（記事：武良）



特集【HERO'S】

企画取材：発信・地域の力委員会

TEAMボナパルト



米子城下町に残る町家・お地蔵さん・小路・外堀など、専門ガイドの案内でこれまで知らなかった魅力を再発見してきました。



令和7年10月28日、米子まちなか観光案内所がおこなわれている「米子さんぽ」に参加してまいりました。

集合は早朝6時30分、気温11度と肌寒い朝。ANAクラウンプラザホテル米子のロビーに集まり、米子の城下町を約1時間かけて歩くまち歩きがスタートしました。

ガイドを務めてくださったのは、前回の特集でもお世話になりました一般社団法人米子観光まちづくり公社の理事長・川越博之氏。まちの成り立ちや地名の由来を丁寧に解き明かしてくださいました。

出発地点のANAホテルは、かつての内堀の中に建てられており、現在チャペルが建っている場所は旧・大手門跡とのこと。

また、商工会議所周辺は「堀端侍町」と呼ばれていたエリアで、加茂町二丁目・久米町・西町あたりを指すそうです。現代の市街地のすぐそばに、城下町の面影が残っていることを改めて実感しました。

印象的だったのは「てんじんはし」のお話。天神町のローソンから岩倉町へと抜ける加茂川にかかる天神橋には、石柱に「てんじんはし」と濁点のない表記があります。

「なぜ濁点がないかわかる方はおられますか？」と川越さんが問いかけると、われらが川口委員長が即座に「川が濁らないようにとの願いが込められているからでは



米子市朝日町にあるまちや内部

ないでしょうか」と見事に正解。

なんと一発で当てたのは初めてとのこと、場の空気が一気に和みました。さすがは委員長、冴えわたる名回答でした。

その後も、米子を発展させた町人の多くが移民であったこと、倉吉から移住した人々の町が「倉吉町」、尾高から来た人々の町が「尾高町」と呼ばれるようになったことなど、地名に込められた歴史を次々と学びました。

また、道が真っ直ぐ繋がらないのは、他の城主に攻められた際に先を読ませないための工夫であるなど、まちづくりの知恵にも驚かされました。

途中、観光案内所では香り高い「米子城コーヒー」と「米子生せんべい」でひと休み。

古いまちやも多く残っており、こうした資源を活かして観光客やインバウンドの方々に「商人のまち 米子」の真髄を感じてもらえたらと感じました。

私自身、米子に住んで約27年になりますが、今回のまち歩きで初めて知る歴史や逸話が数多くありました。

地元を愛し、歴史を未来へつなごうとされている方々のお話を聞くことで、このまちへの愛着がますます深まりました。

「早起きは三文の徳」といいますが、この日の朝はまさに三文どころか、それ以上の徳を感じるひととき。

見慣れた風景の中に眠る「米子の物語」を再発見した実りある朝となりました。

(記事:TEAM ボナパルト 大江)



旧大手門だったチャペル



天神橋（てんじんはし）



米子市朝日町にあるまちや内部



米子市朝日町にあるまちや内部

米子城コーヒーと米子生せんべい

令和7年度OB交流会（新OB認証式）



副会長 中西 悠介 (株)LABO工事部 次長)

10月17日にバンケットシュシュにてOB交流会が開催されました。当日は新OB会員5名を含め、総勢30名での交流会となりました。新OB会員認証式では新OB会員の自己PRの内容によって承認が決まる為、新OB一人一人が素晴らしいPRを行い、無事ご承認となりました。福田一哉OB会長のご挨拶と12期ご卒会の足立統一郎OBの乾杯のご発声で交流会が始まり、和やかな雰囲気で行われ、13期ご卒会の杉原弘一郎OBの中締めにて閉会となりました。OB会員の皆様、新OB、そして現役会員と各世代での様々な話があり、当会の51年という長い歴史を改めて感じた交流会でした。

■新OBおめでとうございます! / 高井 賢一OB・梅原 雅明OB・高見 秀幸OB・谷村 祐也OB
佐々木 崇OB・高岩 雄一OB・伊澤 佑矢OB



新理事ご紹介



ビジネス経営委員会

委員長 景山 貴司

(株)カミナリ 広告プランナー)

この度、51期の理事に就任させていただきました景山です。期の途中から理事ということで、2回目の理事をこのようなタイミングで受けることになるとは

思いもしませんでした。困難も多々あるかもしれませんが、受けたからにはやり抜く覚悟で臨みたいと思います。ビジネス経営委員会には副会長、副委員長をはじめこれまで共に過ごしてきた頼もしい委員会メンバーばかりなので安心して再スタートをきれると思っています。「壁は乗り越えられる人の前にしか現れない」とイチローの言葉がありますが、当委員会の目の前に立ちただかった壁を委員会メンバーと共にブチ破っていくために誠心誠意をもって理事という役職を務めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

新入会員紹介

ビジネス経営委員会



藤山 智史

(株)リージョンデザイン・ホールディングス 取締役
高齢者住宅、医療、介護、コンサルティング、飲食業
〒683-0846 鳥取県米子市安倍200-1 平成ビル 3F
TEL: 0859-21-5012 FAX: 0859-21-5013

(KT)

(EM)

〈コメント〉令和7年10月に入会致しました、株式会社リージョンデザイン・ホールディングスの藤山と申します。グループの経営管理を担当しており、主に高齢者住宅事業、飲食事業、コンサルティング事業などに携わっております。自分が生まれ育った山陰を持続可能でより豊かな地域にするため、皆様と共に何にでもチャレンジし、貢献したいと考えております。未熟なところも多い若輩者ではありますが、何卒よろしくお願い致します。

編集後記

早くも師走の時期がやってまいりました。我々経済人の肝臓と睡眠時間に、何かと負荷のかかる季節でもあります。忙しい合間にこそ、適度な運動と休息を心掛け、乗り切っていきたいものです。一年の締めくくりに向けて、皆さまにとっても実り多き年末となりますように。
(発信・地域の力委員会 大江)

～地域をつなぐ中小企業の輪～

ビジネス交流会

2026

Let's meet up!

1.30金
19:00-20:50



会場 KASANE YONAGO
米子市観音寺新町3丁目5-25



参加費 4,000円 (buffet+フリードリンク付き)

こんな方におすすめです!



- ・営業につなげたい、ビジネスを広げたい方!
- ・社内外で新しい繋がりをつくりたい方!
- ・販路拡大や人脈づくりを目指す方!
- ・新しい顧客・パートナーを見つけたい方!

※経営者/個人事業主/営業・企画・事務職など職種は問いません

お申込みは
こちらから

(受付は先着順)



締切1.23金

《交流会の内容》

- ✓企業PRタイム・・・1社3分[12社限定]
- ✓企業PRブース・・・無料[8社限定]
- ✓プロフィールシートによるマッチング支援
- ✓オンライン名簿(希望者限定)で交流後につながる!!
- ✓名刺交換&歓談タイムでネットワークの拡大!



ビジネス交流会担当 特命担当理事 大江 史紀

この度、地域の中小企業同士がつながり、新たな取引や協業のきっかけを生み出すべく「ビジネス交流会」を開催する運びとなりました。

当日は企業PRタイムやブース出展、名刺交換など、販路拡大や人脈づくりに役立つ多彩な交流の場をご用意しております。会員企業の皆さま、そしてOB会員の皆さまにも多数ご参加いただけると幸いです。

皆さまと共に、地域ビジネスの新たな可能性を広げてまいりましょう!

お申込みは
こちらから

(受付は先着順)



締切1.23金